

三善晃を唄う会 2017

in 淡路島

2017.08.27

13:00 開演

洲本市文化体育館文化ホール

三善晃を唄う会、唱歌の四季を唄うあわじの会

豊中少年少女合唱団

Program

♪ 唱歌の四季 より

朧月夜、茶摘、夕焼小焼

編曲 三善 晃

♪ ～ゲスト演奏～ 豊中少年少女合唱団

豊中少年少女合唱団団歌

作詞・作曲 三善 晃

♪ 童声・混声合唱とピアノのための 葉っぱのフレディ

春、夏、秋、冬、雪、やがて春 (全6曲)

作詞・作曲 三善 晃

♪ 混声合唱のための地球へのバラード より

地球へのピクニック

作詩 谷川 俊太郎

作曲 三善 晃



ご挨拶

本日はご来場誠にありがとうございます。私たちは作曲家・三善晃先生の合唱曲を歌うために全国各地から集まり合宿とコンサートを開く、1年に1度だけの合唱団です。2011年に第1回を開催して以来、毎年ここ淡路の地で開催を重ねて今回が7回目となりますが、洲本市のこのホールでの開催は今回が初めて。しかも本日は「一日限りのあわじグリークラブ」との合同演奏会で、「唱歌の四季を唄うあわじの会」の皆様も一緒に歌ってくださる。それから、海を越えて、大阪より豊中少年少女合唱団の子どもたちもやって来る。こんなに賑やかな集まりになったのは史上初めてです。共に歌ってくださる、そして聞きに来てくださる方々に何よりもまず感謝申し上げます。

さて、本日もご来場いただいた方は、三善晃先生をご存じでない方もいらっしゃるかと思います。三善先生は1933年生まれ、戦後の日本を代表する作曲家のひとりです。桐朋学園大学の学長や東京文化会館の館長などを歴任され、オーケストラ作品はもちろん、各種器楽曲、声楽曲などあらゆるジャンルの作品を作曲されています。ポピュラーな曲ではアニメ世界名作劇場「赤毛のアン」のオープニングソング「きこえるかしら」をご存知の方が多いかもかもしれません。

そんな三善先生は太平洋戦争期に少年時代を過ごされ、まさに生と死が隣り合わせにある日常を送りました。その時の経験が後の作曲活動に大きな影響を与えます。三善先生の合唱曲は、人間のいのちへの愛や慈しみ、その尊さで溢れています。本日歌うどの作品にもそのテーマが流れているといえます。

三善先生が亡くなられて4年が経とうとしています。その間、〈平和〉という言葉は当たり前のものでなく益々危ういものになってきているように感じられます。「葉っぱのフレディ」たちは与えられた命を精一杯生きて、自らの役目を終えたのちに旅立っていきました。本日歌う唱歌は、巡っては繰り返す季節や日々の中に生きる人間のつつましい営みが描かれています。再び失ってはならないものがあります。私たちはこの三日間、三善先生の作品とそのメッセージを学び、歌いあってきました。それを皆様に伝えられるように歌いたいと思います。

最後になりますが、七年間続いたこの唄う会は今年をもちまして、まずは一区切りとなります。これまでご支援いただいた方々には心より厚く御礼申し上げます。それとともに、またこの地で再会できる日を夢見て新しい一歩を踏み出したいと思います。

短い時間ではありますが、終演までどうぞお楽しみください。

三善晃を唄う会 事務局 秋山 浩太

a Composer 三善 晃

1933年、東京生まれ。幼児からピアノ、作曲などを学び、1951年東京大学入学。在学中、毎日コンクール作曲部門第1位を受賞し、1955年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留学。1960年東京大学文学部卒業。1963年東京芸術大学講師、1966年桐朋学園大学教授、1974年から1995年まで同大学学長。留学前から尾高賞（今までに6回受賞）、毎日音楽賞を受賞。他にイタリア賞、芸術祭賞、NHK作曲賞、東京都文化賞、モービル賞など多数受賞し、1989年に日本芸術院賞を、1984年のフランス政府学術文化賞パルム・アカデミックにつづき1996年には同国政府より文芸オフィシエ賞を受勲する。1996年10月東京文化会館館長に就任。1999年12月日本芸術院会員に。2000年6月、オペラ「遠い帆」でサントリー音楽賞受賞。作品は合唱と管弦楽のための「レクイエム」「詩篇」「響紋」の三部作をはじめ、あらゆるジャンルに亘って多数。こどものためのピアノ曲集「音の森」、随筆集「ヤマガラ日記」や多くの合唱作品はカワイ出版から発売されている。2013年10月4日、心不全のため死去。80歳没。

一曲目解説

唱歌の四季より 「朧月夜」、「茶摘」、「夕焼小焼」

唱歌の四季は、誰もが知っている唱歌を合唱にアレンジした作品です。本日は混声合唱とピアノによる編成で歌いますが、2台ピアノヴァージョンや女声合唱、男声合唱など様々な版が存在し、日本全国で歌われています。明治時代に生まれた馴染み深い唱歌は、三善先生のアレンジにより、生まれたばかりのような新鮮さを持ちながらも、私たちの心の源泉、故郷とも言えるような親しさを持っています。本来は、本日歌う3曲の他に、「紅葉」と「雪」が加わり、「春夏秋冬」の順に唱歌が歌われたあと、「夕焼小焼」が置かれます。三善先生は、少年時代に見た夕焼けの景色について度々言及しています。集団疎開で東京を離れるときに見た夕焼けのこと、空襲で焼け野原になった東京を染めた夕焼けのこと…本日歌う「夕焼小焼」のフィナーレには三善先生の平和への強い願いが表れているように感じられます。

童声・混声合唱とピアノのための「葉っぱのフレディ」

世界中でベストセラーになった同名の絵本を下敷きにした作品で、第40回大阪府合唱祭記念作品として2003年に初演されました。

大きな木の枝に生まれた「葉っぱのフレディ」たちは、春、夏、秋、冬と季節が巡る中で、育ち、円熟し、やがて枯れていきました。降り積もった真っ白い雪は枝を離れたフレディをやさしく迎え入れます。やがて訪れる再びの春、そこにフレディたちの姿はありません。けれども、フレディたちは地に落ちて大きな木と溶けあいました。枝にはまた、新しい葉っぱたちが生まれてきます—哲学者、レオ・バスカリアが子どもたちに贈った「いのち」についての物語を、大人と子どもとが一緒に歌い合います。以下は初演に寄せられた三善先生のプログラムノートです。

《伝えてよ、鳥たち。地球の上に、地平の彼方にも》

第40回記念大阪府合唱祭の合唱曲の作曲を頼まれ、候補テキストとしての詩をかなり多く提供していただいた。趣旨として、「ひたむきに生きてゆく」ための真実・勇気・喜びを謳い、子供たちとそれを共有し、そのかたちで彼らにそれを伝えてゆくこととされた。21世紀の始まりが、現今の世界情勢に見られるような悲しむべき状況になった今日、この願いは人類の、むしろ切実な祈りでもある。だが、それにしては集まった詩は視野が限られているように感じられ、この普遍的かつ現実的な思いを託するにはためらいがあった。

西岡茂樹さんは《葉っぱのフレディ》を推された。初め、私はこれにも躊躇した。これは散文であって詩ではない。しかもその物語の表現は、美しい絵あつてのものと思われた。

思案中の私に、西岡さんは控えめに、池田小学校の被害とその周辺の親子たちの心について語った。西岡さん自身もその一人だった。私は西岡さんの言葉を幻聴しながら《葉っぱのフレディ》を読み直した。

親子の心は「周辺の」に限らない、「日本の」いや「人間の」心の罅として私の裡に聴こえてきた。ある意味で、懐かしい罅だった。物質界から生物界が、更に生物界から心の世界が、入れ子のよう生まれているのではないかという自然科学者たちの謙虚な仮説も、この罅と響き合った。

すると《フレディ》の絵から、私の言葉と歌が、手紙を銜えた鳥たちの群のように翔び立っていった。私はその鳥たちの飛翔の跡を五線紙に書き留めた。生きている私たちには見えないところまで、鳥たちは手紙を一祈りの音信を一携えて翔んでいってくれるだろう。

「地球へのピクニック」

谷川俊太郎さんの詩によるアカペラの合唱曲です。地球とそこに生きる生命への讃歌とも言える壮大な曲です。「ここへ何度も帰って来よう」という願いを持って、この会では毎年コンサートや宴会で愛唱してきました。今日も同じ思いで歌います。

Members

指揮 西岡 茂樹 (兵庫県)

ピアノ 浅井 道子 (東京都)

三善晃を唄う会 in 淡路島 2017

Soprano 岩本 弥和(広島県)、森島 美幸(大阪府)、西山 貴子(山口県)、園部 裕子(広島県)、三田 彩加(広島県)、田中 芙実(大阪府)、竹本 勢津子(広島県)、小田 香保里(広島県)、久保倉 あさ子(神奈川県)、山嶋 淑己(愛知県)、渡邊 里美(広島県)、久保田 みどり(広島県)、浅田 菜摘(大阪府)、山村 ひとみ(広島県)、西岡 恵子(兵庫県)、岡野 なおみ(大阪府)

Alto 佐野 環(大阪府)、犬井 聖佳(大阪府)、中祖 美和(大阪府)、吉永 瑠実(大阪府)、小野 薫(神奈川県)、野村 文子(山口県)、年光 久美(山口県)、福谷 恭子(山口県)、宇城 昌里子(広島県)、古谷 きよみ(広島県)、安松 紀子(広島県)、金村 保乃(広島県)、古根川 史世(大阪府)、犬井 晶子(大阪府)、谷澤 直子(静岡県)、國光 佳織(広島県)

Tenor 秋山 浩太(大阪府)、野崎 浩寿(大阪府)、小田 信行(広島県)、松江 真寛(広島県)、藤本 佳代(広島県)、林 宏美(広島県)、小泉 徹也(大阪府)、犬井 俊彦(大阪府)、山際 康弘(大阪府)、岡田 洋裕(兵庫県)、

Bass 栃尾 公雄(神奈川県)、阪本 裕一(広島県)、鈴木 宏明(大阪府)、田中 時光(東京都)、佐々 哲郎(岐阜県)、山内 健(愛知県)、中野 拓哉(洲本市)、辻 猛夫(広島県)、田中 宏(広島県)、伊豆 和師(広島県)、佐藤 昂大(広島県)、福川 道隆(大阪府)、後藤 健(大阪府)、大野 泰夫(愛媛県)、安田 篤司(愛知県)、仲野 均(兵庫県)、大河内 和男(大阪府)、大西 貴士(大阪府)

Special Thanks 赤井 清隆(洲本市)、古藤 雄大 (大阪府)

唱歌の四季を唄うあわじの会

Soprano 糟谷 敬子、川野 りえ、斉藤 奈緒子、佐竹 裕子、竹本 愛子、田中 ゆみ子、中村 美穂、橋本 みゆき、風呂 敬子

Alto 今田 太佳子、馬田 公子、岡田 敦子、倉本 しず代、福井 貴美子

Tenor 赤井 清隆、五百蔵 聡、片山 高義、竹本 大二郎、細川 隆史

Bass 岩木 信博、馬田 三千雄、海老 一吉、中野 拓哉

豊中少年少女合唱団

Soprano 宮本 りりか、鎌田 笑美花、佐々木 あゆみ、濱口 櫻子、片桐 沙和、岩井 優希、鹿島 萌詩、國富 勇作、下村 薫実、中條 咲希、毎熊 悠、下條 澄香、土井 佐和子、戸塚 和、森村 帆乃佳、渡辺 讚々美、高田 百花、真鍋 海、大家 陽子、橋本 至宝

Alto 西岡 彩音、加藤 美咲、板垣 美賀子、大家 広平、植村 芽以、塚 夏紀、北島 美月、山村 幸歩、高橋 萌愛、宇治田 美桜、田村 心結、山縣 真央、岡本 美紘、頓行 莉子、山村 七海

お問い合わせ：三善晃を唄う会事務局 miyoshiutaukai@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://miyoshiutaukai.wixsite.com/home>

この事業は洲本市つながり基金助成事業により実施しています